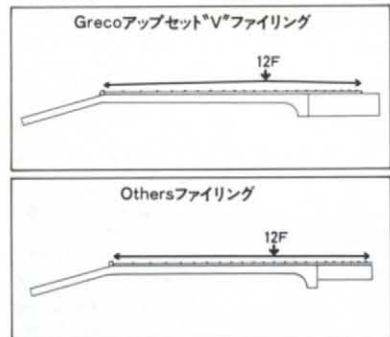


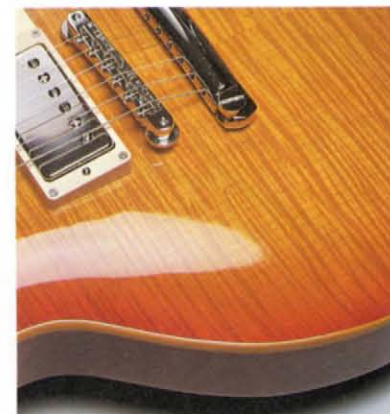
フレットファイリング (Frets Filing)

グレコでは、フレット仕上げの最終段階でもっとも重要なファイリング作業において独自の方法を導入、名づけてアップセットV[®]ファイリング(Upset V[®] filing)。これはネックの中起防止に対処するものでザ・ミントコレクション全機種に採用している。グレコではネック管理に細心の注意とチェックを行ない、もちろんこれがベストだという状態のネックしか使用しないのだが、ギターを使用する環境などでネックにソリが出た場合、ロッドで調整するわけだが、その時によく起こりやすいのがハイポジションにおいての弦のビビリだ。他社はファイリングを1フレットから22フレットまで直線で行っているためビビリがどうしても出てくるのだが、グレコのアップセットV[®]ファイリングは、12フレットを頂点にして逆Vの字型でファイリングしているため、ロッド調整をしてもビビリが出ないのだ。このファイリングは他社のファイリングに比べて時間も2倍以上もかかり、すぐれた技術が必要なのだ。このことを取ってみてもグレコでは見かけだけの製品を作るのではないということがわかっていただけたと思う。



ボディ (Body)

ギターの良否を決めてしまうといっても過言ではないほど重要なボディだ。グレコではオリジナルを徹底分析、研究を重ね、同時にグレコプロジェクトチームが今までつちかかってきたノウハウを持って開発したのがこのザ・ミントコレクションだ。世界でも希少なフレームグレイン。それも厳選したものを単板2ピースブッキングでトップに、そしてバックにはマホガニー単板を採用したEGシリーズの最高峰のEG60-180、60-150、まさにグレコ・ザ・ミントコレクションのステイタスシンボルにふさわしい超豪華仕様だ。EG58-120はメイプル2ピースにフレームグレインメイプルをラミネートしたトップ、バックにはこれまたマホガニー単板2ピースを採用したオリジナルもまっ青なスペシャルスペックのハイグレードボディとなっている。オールマイティにミュージックシーンにその魅力を偉観なく発揮することは間違いない。ハードからジャジーなソロまでキミの思い通りのフレーズに確実に反応するザ・ミントコレクションEGシリーズはまさにスーパーリアルだ。ボディシェイプも、オールドスタンダードを徹底的に研究したものであり、見るからに美しいアーチドトップのフォルムにため息の出ること受け合い。また、あるメーカーはピックアップをマウントしてある中央部を完全なフラットトップになっていると豪語しているが、グレコプロジェクトチームの調査の結果、完全なフラットトップのスタンダードなど存在しなかったことを付け加えておこう。



ボディバインディング (Body Binding)

流れるようなボディラインをいっそう引き立てるのがボディバインディングだ。グレコではこのセルにオリジナル同様2.5mm厚の物を使用。

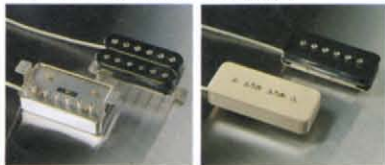


EG59-50CRS

ピックアップ (Pickups)

パーフェクトなボディ、ネック、ブリッジなどとベストマッチングを充分配慮された自社開発生産の優れたピックアップ。下請パーツ工場で一貫生産された他社ピックアップとは一味も二味も違う。オリジナルと甲乙つけがたいと絶賛をあげているDRYはEG59-100以上の全機種に採用。EG60-150はDRYのオープンタイプでセラボビン(ボビンが白と黒)にスクエアウィンドウがたのもしかり……。強烈な腰の強さに加えてシャープさもバツグン。澄んだ抜けるようなハイトーンをみごとに再現した。ねばり、サステインもこれまでのハムバッカーのイメージを一新する充実したサウンドで、もうこれ以上のピックアップは無いという声があらゆる方面から聞けるほどのスグレ物だ。EG59-70以上の機種には新開発のDOUBLE TRICKを搭載。DRYの血を引くそのハムバッキングサウンドはアーリー50'sそのものといった感じ。その他のEGシリーズ全機種にはコストパフォーマンス最高のSCREAMINをマウント。スペシャルボディとのマッチングも絶妙で、グッドフィーリングあふれるそのサウンドは、ジャンルを越えてミュージックシーンに鮮かに浮かびあがることだろう。そしてあのゴールド

トップにマウントのシングルコイルHOT LICK。ハムバッカーとは一味違う、タイトでロングサステインのハイトーンがオリジナルを魅了させた。

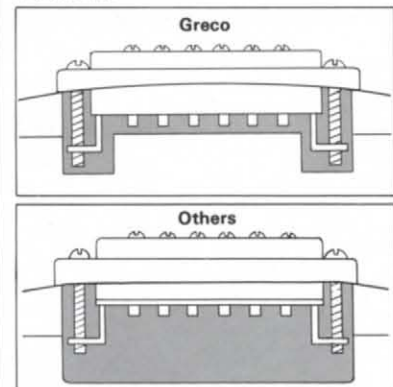


エスカッション (Escutcheon)

フロント1.4inch、リア1.1inchの高さをもつエスカッションは、底辺がほぼフラットなオールドパーフェクトモデルだ。ボディのスペックのところでも述べた通り、ピックアップホール付近は完全なフラットではないので、エスカッションの底辺も完全なフラット仕様は存在しないのだ。現行モデルのエスカッションよりもかなり背の高いタイプなので、もしキミがオープンピックアップにした時もコイルをキミのハードなプレイからもパーフェクトにガードしてくれるので大安心物だ。

ピックアップホール (Pickup Hole)

いくらボディ、ピックアップが良くなってもピックアップホールをいかに加工でやるとそれこそ音質に大きな影響が出てくる。ソリッドボディの場合できればサウンド面から掘加工は全くやらないほうが良いのだが、ピックアップ、ブリッジ、ボリューム等どうしても開けないといけない部分が出てくる。そこで問題になるのが開け方だ。図を見てもおわかりになると思うが、他社のピックアップホールは、ピックアップアジャストネジの深さまでガバッと開けられているものがほとんどで、ボディの厚みの半分以上もえぐられた形になっている。これでは豊かな響きとロングサステインが得られる訳がない。グレコプロジェクトチームではオリジナルを徹底研究、必要最少限のホール加工にしてある。これにより、豊かな響きとロングサステインの再現に成功した。他社の大きなホール加工は単に作業が容易にできるということだけで、なんのメリットもないのだ。



コントロールノブ (Control Knob)

プレイヤーの微妙なコントロールを正確に伝えるノブには、オリジナルスタンダードの形状、材質を忠実に再現したパーフェクトなフライングソーサーノブを使用。カラーも経年変化によるアンバー色とゴールド色をみごとに再現している。ボディの50'Sカラーとのマッチングも最高!!



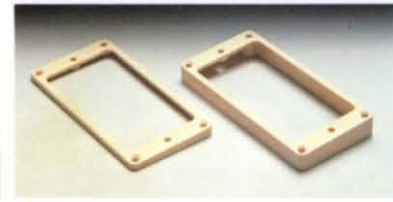
スイッチノブ (Switch Knob)

スイッチノブもコントロールノブと同じく、アンバーカラーの渋いタイプ。スイッチ操作もスムーズなもの。



スイッチプレート (Switch Plate)

まず注目していただきたいのがロゴだ。書体、大きさとも他社のものとは違うはずだ。これはグレコがオリジナルをパーフェクトに再現すべく新たに型起こしから作ったもので、細かい部分なのだが、グレコは手を抜かないということの証明だ。他社の既成品とじっくりくらべてくれ。もちろん、材質、大きさ、厚みもすばらしい出来ばえだ。



ブリッジ (Bridge)

ブリッジもパーフェクトな仕上がりで、ブリッジサドルの材質はプラスチック(真ちゅう)でその上にニッケルコーティングをほどこしたもので他社のブリッジに見られるようなプラスチック製の物とは比べものにならないほどの仕上がりだ。もう一つ注目してもらいたいのがブリッジをささえるスタッドホルドだ。図を見てもおわかりになるのは歴然とするはずだ。他社のスタッドホルドは木ネジ状の物を使用(スタッドホルドというよりはスタッドスクリューといったほうがよい)している。これは生産性に関しては非常にいいのだが(手間ははかばかしている)スーパーリンキー等の極めて細い弦のテンションにささ耐えられず、グラツキが生じやすく、サステインもブリッジがガッチリホールドされていないため多くを望めないのだ。これに対しグレコのスタッドホルドはガッチリとブリッジをささえ長期の使用にピクともしないタフな奴。どうぞ安心してプレイに打ち込んでほしい。



テールピース (Tail Piece)

まず手に取って見てもらいたい。その軽さに驚かれると思うが、これがグレコスペシャルアルミダイキャストテールピースだ。(EG-70以上の機種に採用)形状はセンターのふくらみを少し後にずらした独特のものだ。これは現行モデルとはちがったオリジナルの大きな特徴の一つである。こういう細かな形状やシビアな材質選択などを徹底してやることはギターそのものの完成度の証明となりうるのだ。



ジャック (Output Jack)

アウトジャックには新たにグレコプロジェクトチームが型起こししたクリームプレート、ワッシャをマウント。他社の既成品よりも一回り大きくオリジナルをパーフェクトに再現したものだ。ガタつきもなく耐久性にも優れたもので安心してプレイできる。



ストラップピン (Strap Button)

もちろんグレコはストラップピン1つ取ってみても気を配っている。テールピース同様素材はアルミ、加工方法は削り出し、あの渋い輝きはここから生まれてくるのだ。

カラー (Colors)

詳しくはカラー欄を見ていただきたいが、EGシリーズには、CRS、FBS、LDS、G、EBを用意。

CRS (チェリーレッドサンバースト)

素晴らしい鮮度のブライトカラー。

FBS (フェイドブラウンサンバースト)

オリジナルでは時々見かける深いレッドの退色カラー。

LDS (レモンドロップサンバースト)

CRSの退色カラー。文字通り、レモンドロップの透明感のあるイエローサンバースト。

G (ゴールド)

どこかのブランドに塗られているドブネズミゴールドではない深く透明なイエローゴールド。オリジナルを見た人なら一目瞭然!

EB (エボニーブラック)

黒檀のしっとりしたツヤそのままのブラックカラー。同じブラックでもその輝きに差が出る。